

第 50 回静岡県児童生徒木工工作コンクール

【 趣 意 書 】

テーマ：『 K.U.F.U^{くふう} ～木のチカラを君がカタチに～ 』

「木のチカラ」——それは人間が古くから頼りにしてきたチカラです。

山をはじめとする自然界で発揮する木のチカラ、伝説や信仰の象徴となるほど偉大な木のチカラ、そして住宅や木工品、燃料など、私たちの暮らしに不可欠な材料としての木のチカラ。その木のチカラは、近年、あらためて注目を集めています。

現在、木材は環境問題や社会問題の解決策として世界的に活用が推進されています。木材は世界を変える素材であり、その多様性や魅力は未来を動かすチカラとなるでしょう。

静岡県木材青壮年団体連合会は、今回で 50 回という大きな節目を迎える静岡県児童木工工作コンクールを開催いたします。長きにわたり当コンクールを継続できたことは、児童・生徒たちの無限のアイデアと、生活に身近な「木」という素材があったからに他なりません。

今年度第 50 回の開催テーマは『 K.U.F.U^{くふう} ～木のチカラを君がカタチに～ 』です。

このテーマには児童・生徒のみなさんが木材を使用したモノ作りを通じて、独自のアイデアや想いを設計し、自分なりの方法で行動し、試行錯誤を繰り返しながら創意工夫を凝らした作品を制作してほしいという願いが込められています。また、今回は作品そのものだけでなく、制作過程での創意工夫のポイント、選んだ木材や樹種の背景やストーリーもアピールしていただく予定です。その制作過程を通じて木を好きになり、家族や仲間との思い出を作り、問題解決能力を育むなど、このコンクールをきっかけに多くのポジティブな要素が生まれることでしょう。

結びに、「木のチカラ」の中には鉄・石・プラスチック・コンクリートなどの素材にはない優れた「加工性」があります。誰でも容易に加工ができる、その「木のチカラ」を児童・生徒のみなさんが最も表現できる場が、全国児童・生徒木工工作コンクールです。一人でも多くの子どもたちが木に触れ、感受性や創造性を育み、成長を重ねながら、温もりのある社会を築いてくれることを願うとともに、木材業界の魅力や可能性を共に考え、木材業界の未来を担う若者へと成長してくれることを心から期待しています。

令和 7 年 8 月

- * 主 催 静岡県木材青壮年団体連合会
- * 協 力 静岡科学館 る・く・る
- * 後 援 静岡県／静岡県教育委員会／静岡県教育研究会／
(予 定) 静岡市／静岡市教育委員会／静岡県森林組合連合会／
静岡県木材協同組合連合会／NHK 静岡放送局／
静岡新聞社・静岡放送／中日新聞東海本社／
テレビ静岡／静岡朝日テレビ／静岡第一テレビ／
K-m i x／FMハロー／日本木材青壮年団体連合会

